

誠美だより



6

2015/JUN
誠美保育園

夏じたく

一向に梅雨の知らせが届かず、一気に夏がやってきたような、暑い6月を迎えました。

外で思い切り体を動かせる毎日ではありますが、四季折々の儀式を飛ばすと、どこかで自然界の大きな反動が待っているようで、それはそれで心配になるものです。

園内も少しずつ夏じたくを始めました。園庭には日陰を作るネットを張り、先週末に親父の面々の手を借りて、屋上に突き出た三つの三角屋根の側面に掛けた葦簀（よしず）を張り替えました。これも毎年の誠美の初夏の儀式です。

ちょうどこの葦簀をかけた部分はガラス窓になっていて、吹き抜け天井の0〜1歳児保育室から見ると、ちょうど天窓のような位置になります。部屋が明るくなっているのですが、陽が直接差し込む事もあります。午睡などは少しまぶしかったりもします。そこで葦簀を掛けると絶妙な光加減を実現できるのです。

今年の葦簀替え作業中、ひとりの親父さ

んから「園長先生、これまだ使えますよ。」と声がかかり、12枚の葦簀の中に痛みが少ない葦簀がある事がわかりました。そういえば、昨年の葦簀調達時、お店の在庫が足りず、やむをえず隣にあった値段の張る煙で「燻（いぶ）した」高級葦簀というものを一部購入していた事を思い出しました。その時は値段相応なものなのか半信半疑でしたが、なるほど、古来からの知恵や技術の確かさというものを実感しました。

さて、取り外した葦簀は実はまだお役御免とはなりません。クタクタのところ申し訳ないと思いつつ、これが火の焚き付けに絶好なのです。釜戸炊きや焼き芋に活躍してくれますので、園舎裏の薪棚で大切にしておきます。

今は遮光に加え、断熱効果を持つフィルムというものまであって、いっそそれを天窓に貼ってしまえば簡単な事なのかもしれません。しかし、こういった儀式を通して自然から何かを学び感じた大人たちが、子どもの傍にいる事で、伝わっていくものもあるような気がします。季節の変化やその環境と少しくらい取っ組み合ってみなければ、それを語る資格もないのかもしれない

ん。何かを省いたり楽したりすると、別の大事な何かを失っていくような気がして。それでもまだまだ楽をしているのですが。

一年間の風雪に耐え、満身創痍でヨレヨレになった葦簀が、黄金色に生まれ変わった初々しい姿を見ると、また夏が来たのだなと思うわけです。滑り台のてっぺん、もしくは駐車場の入口付近からそれを眺めることができます。ごいっしょに夏の到来を感じてください。

園長 折井誠司

安全教室・避難訓練について

かぜグループ（3～5歳児）を対象に、毎月テーマを設定し、事故防止や安全に関する指導を行っています。

職員による寸劇などを取り入れ、よりわかりやすく、印象に残るような工夫もしています。予定は別表の通りです。ご家庭でも、折にふれ、お子さんと話をしてみてください。

- 4月 園庭固定遊具の遊び方と約束
 - 5月 鉄棒の一人での練習危ないよ。
 - 6月 傘は両手でしっかりと。
 - 7月 プールでふざけると、危ないよ。
 - 8月 知らない人に、ついて行かない。
 - 9月 はさみは上手に使って遊ぼうね。
 - 10月 色々あるね、道路の標識。
 - 11月 公園での過ごし方
 - 12月 室内と室外の過ごし方の違い
 - 1月 凍った道は危ないよ。
 - 2月 靴はきちんと履きましょう。
 - 3月 助けを求めよう。
- また、本年度も毎月、災害の種類、場所、時間を変えて、消火と避難訓練を行っています。出火場所に応じて、各クラスの避難

カレンダー	
6月	2 (火) 発育測定 (O12)
	3 (水) 発育測定 (K)
	9 (火) 防災訓練
	11 (木) 歯科検診
	18 (木) 誕生会・乳児検診
	26 (金) 保護者面談終了 (2K)

経路が設定されており、最終的には、園庭の滑り台前に全園児が集合し、毎回、避難する際に気をつけることを子どもたちと確認しています。

また、2次避難場所（内裏谷戸公園）への避難、保護者の方へお引き渡し、消防署員の立会い、消防車見学なども、計画に盛り込んでいきます。

修繕工事順調です

間もなくホールの修繕が完了し、今月からは1階奥のはらっぱの部屋↓もりの部屋と工事を進めてまいります。送迎場所等、その都度掲示等でお知らせしてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

- 編集 誠美保育園
- 編集人 折井誠司
- 発行人 折井誠司
- 印刷所 誠美保育園
- 発行所 誠美保育園

〒192-0364 東京都八王子市南大沢5-1-2

電話 042-6675-1555

ファックス 042-677-5643

Email seihohokuen.jp

http://hokuen.jp/